

助成対象者の付加価値額・過去目標項目調書

市町村名	地区名	助成対象者名	代表者名 (法人等の場合に記載)

1 付加価値額

項目	現 状	現状 年度	1 年度目 (R7年度)	1 年度目 (R8年度)	1 年度目 (目標年度： R9年度)	拡大率
付加価値額の拡大						
収入総額						
費用総額						
人件費						

現状値を補正した要因、 補正の方法	
----------------------	--

- (注) 1 「現状年度」欄には、付加価値額についての現状の年度を記載すること。なお、拡大率は目標年度までの年数により調整して算出(現状年度から目標年度までが4年間の場合、3/4を乗じる。)する。
- 2 「付加価値額の拡大」(内訳を含む。)の「現状」欄に記載する数値(以下「現状値」という。)については、その年の販売額、原材料費等が天災その他の外的要因により平年に比べて大幅に変動したと市町村が認める場合、原則として補正を行うものとする。この場合、現状値は**太字・斜体**で記載するとともに、「現状値を補正した要因、補正の方法」欄に現状値を補正した要因及び補正の方法(現状値の補正過程)を記載すること。
- 3 「収入総額」には、原則として補助金収入を含むが、農業次世代人材投資事業(経営開始型)および新規就農者育成総合対策は含めない

2 過去に行った『経営体育成支援事業』、『強い農業・担い手づくり総合支援事業』及び『担い手確保・経営強化支援事業』

事業名	計画承認 年度	整備内容	設定している成果目標			目標の具体的な内容等
			目標 年度	項 目	達成の 有無	

目標未達の原因と今回の要望で目標を達成するための取組み内容

- (注) 1 過去に実施したものを全て記載すること。
- 2 「設定している成果目標」について、過去に行った事業の成果目標を記載するとともに、「達成の有無」欄には、達成していることをすでに評価報告書等で報告している場合のみ「○」を記載すること。また、達成の有無に関わらず評価報告書を添付すること。なお、すべての事業において「○」となっていない経営体について、目標未達の原因や今回の要望で目標を達成するための取組み内容について記載すること。